



水稻(害虫)編



病虫害注意報
2018年6月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

斑点米カメムシ

カメムシは様々な場所に潜んでいます。被害を最小限にするために、生息場所を減らすための除草と、薬剤の防除を組合わせて行いましょう！

【カメムシの主な生息場所と対策】

①畦畔雑草(特にイネ科)



◆ 畦畔除草のポイント ◆

- ①草刈機: 出穂14日前までに終わらせておく
- ②除草剤: 出穂3~4週間前までに散布
バスタ液剤 (収穫7日前・2回以内)

②水田内に残った“ヒエ”



◆ 残りヒエ除草 ◆

- ・ヒエのみ: クリンチャーEW (収穫30日前・2回以内)
- ・ヒエ+広葉:
ワイドアタックSC (収穫30日前・2回以内)
又は
クリンチャーバスマE液剤 (収穫50日前・2回以内)
クリンチャーEWとクリンチャーバスマE液剤は合わせて3回以内

カメムシの薬剤防除は...

吸汁阻害効果が期待できる

粒剤がおススメ！！

薬剤防除時期

出穂

穂揃期

傾穂期

成熟期

収穫

キラップ粒剤

3kg/10a 湛水散布
収穫14日前まで/2回以内
適用害虫: カメムシ類・ウカ類

※効き始めが遅く残効が長いため、
出穂10日前~出穂期が散布適期です。

アルバリン粒剤

3kg/10a 散布 収穫7日前まで/3回以内
適用害虫: カメムシ類・イネトロイムシ・
ウカ類・ニカメイチュウ・ツマグロコバイ

※成分吸収が早いので、出穂後7日前後(穂揃期~傾穂期)が散布適期です。

又は

注) 止水した湛水状態で散布し、7日間は落水・かけ流しはしないこと。

薬剤名	使用倍率	収穫前日数	使用回数	適用害虫
ダントツ水溶剤	4,000倍	7日前	3回以内	カメムシ類・ウカ類・イネトロイムシ・ツマグロコバイ
トレボン乳剤	1,000~2,000倍	14日前	3回以内	(2,000倍)カメムシ類・イネミスズムシ (1,000倍)コブノメカガ (1000~2000倍)イナゴ類・ウカ類・ イネトロイムシ・ツマグロコバイ

★粒剤を防除の軸として使用し、液剤はカメムシの発生が見られた場合に散布してください。

★刈取りが遅れる場合は再度薬剤の散布を行い、収穫まで効果が続くようにしましょう！但し、収穫前日数にはご注意ください。